

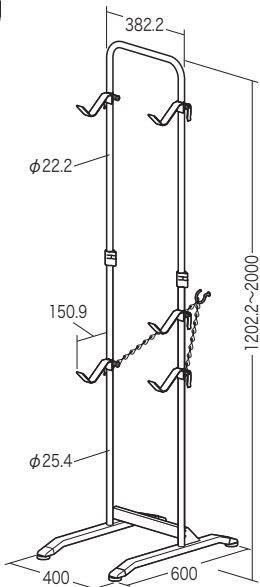
この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。  
本製品は組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。  
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も  
大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に  
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

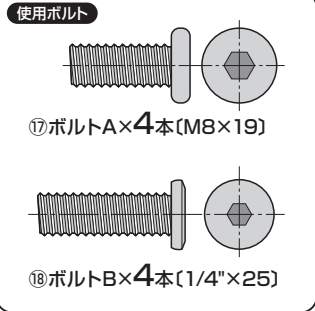
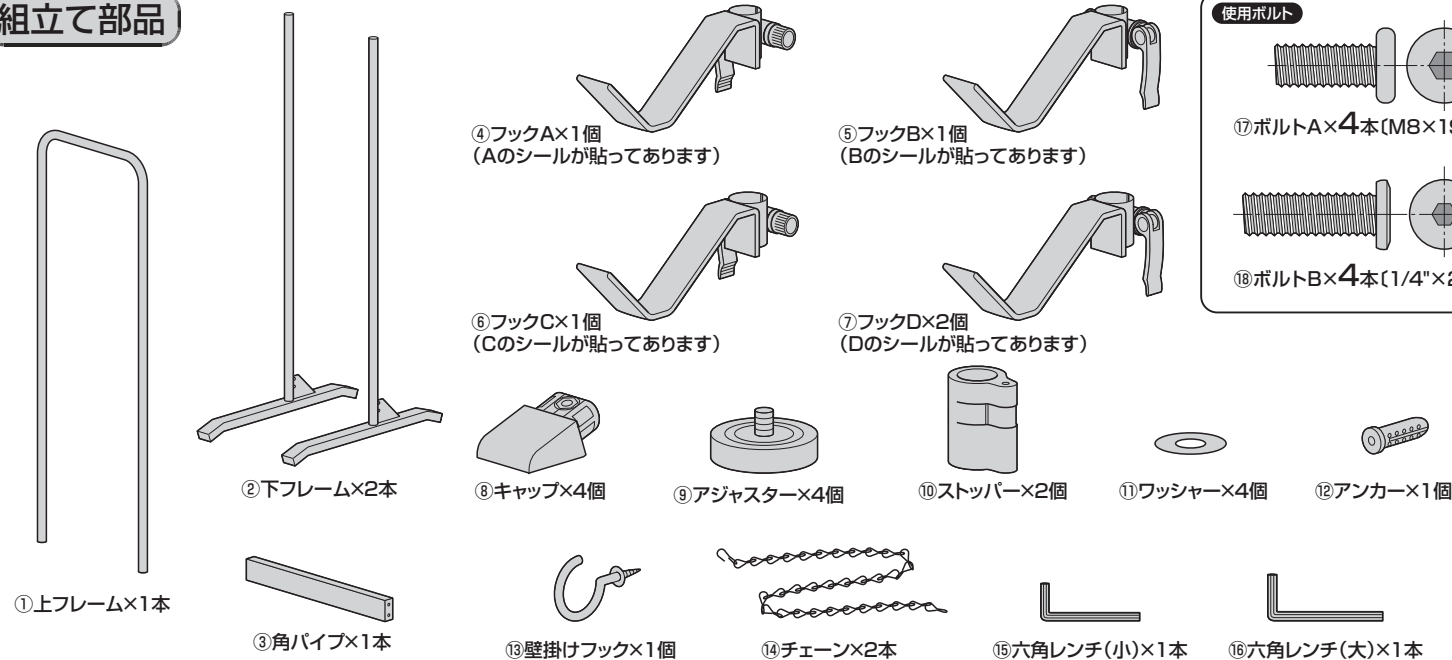
★用意していただくもの・・・  
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）  
電動ドリル

**完成図**



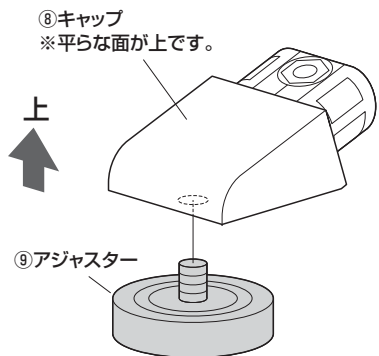
総耐荷重 約30kg(フック1本あたり/約7.5kg)  
※シティサイクルやマウンテンバイクなどで、  
重量が1台20kg以上あるものは対応していません。

**組立て部品**



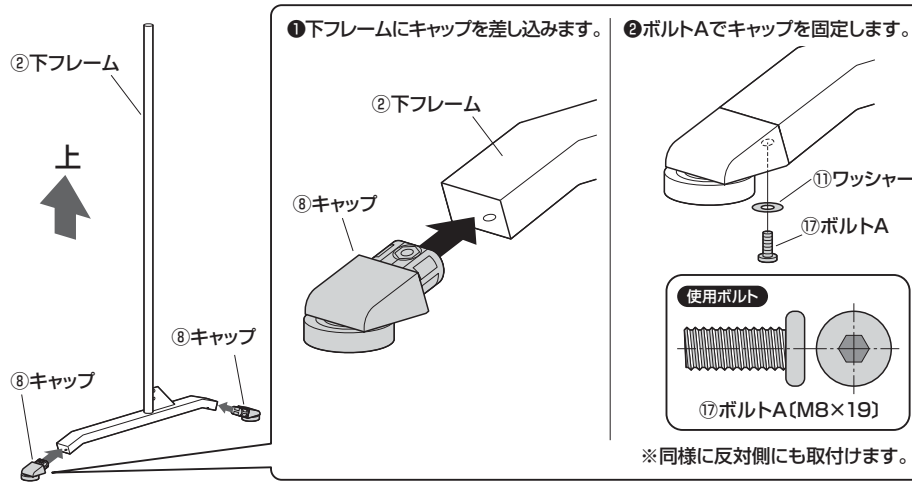
※部品の欠品や破損があった場合は、品番(800-BYST6)と上記の部品番号(①~⑱)と部品名(ワッシャーなど)をお知らせください。

**1** キャップにアジャスターを取付けます。



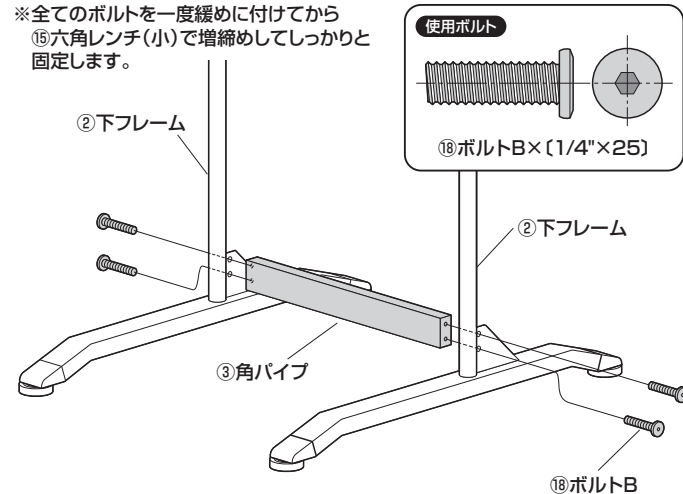
※同様に他のキャップにも取付けます。

**2** 下フレームにキャップを取付けます。

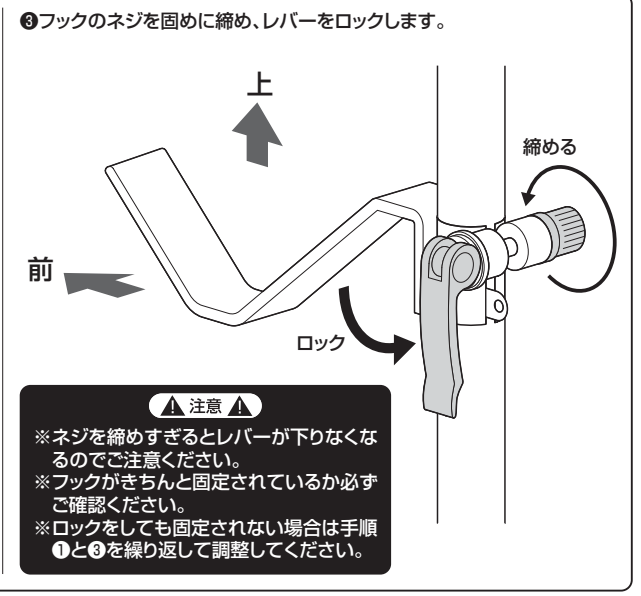
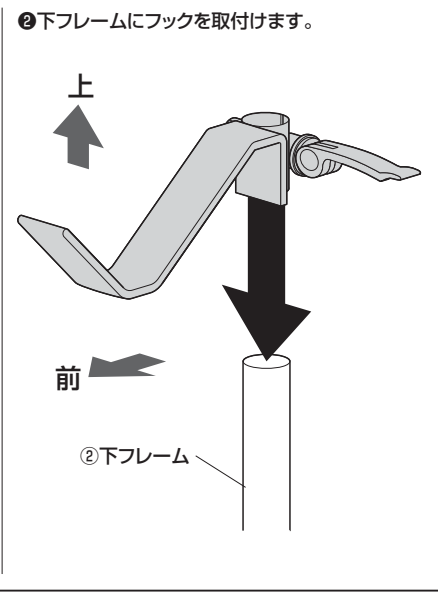
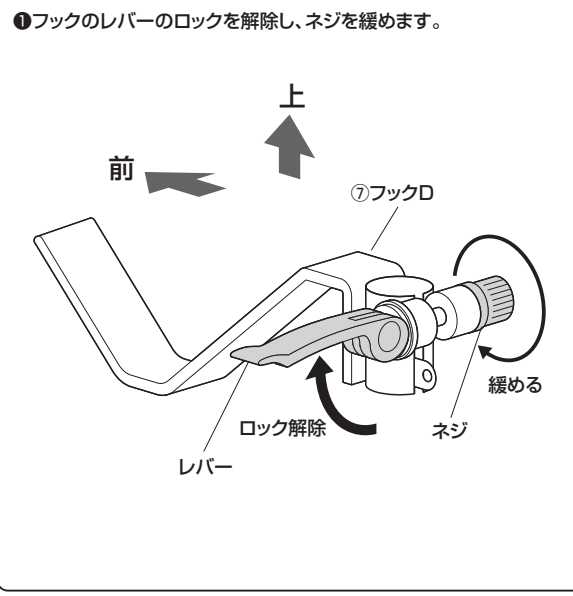
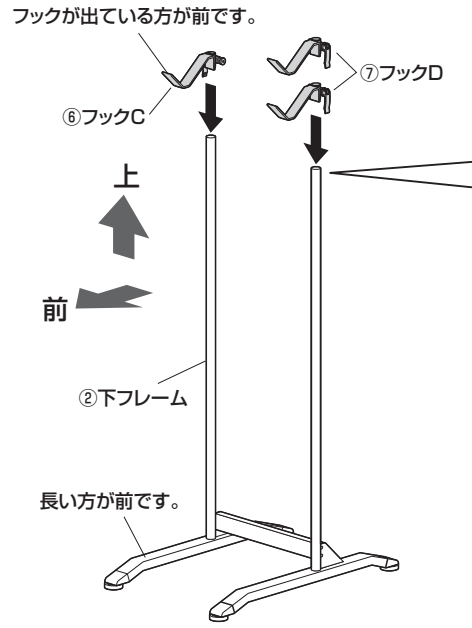


※同様にもう一本の下フレームにも取付けます。

**3** 角パイプに下フレームを取付けます。

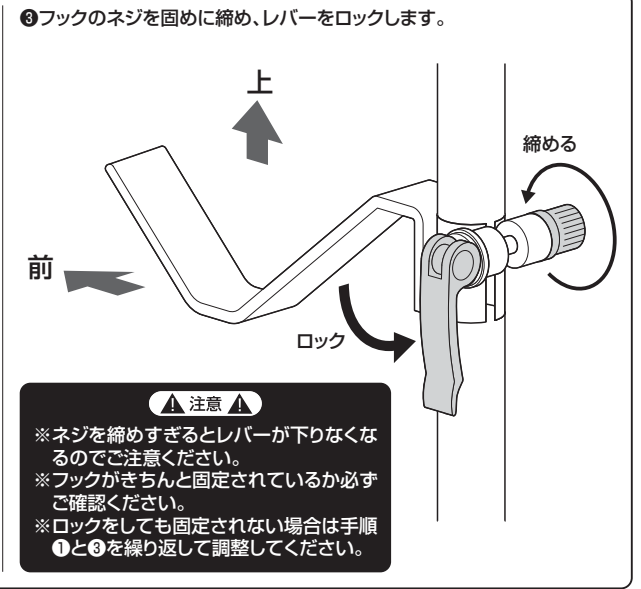
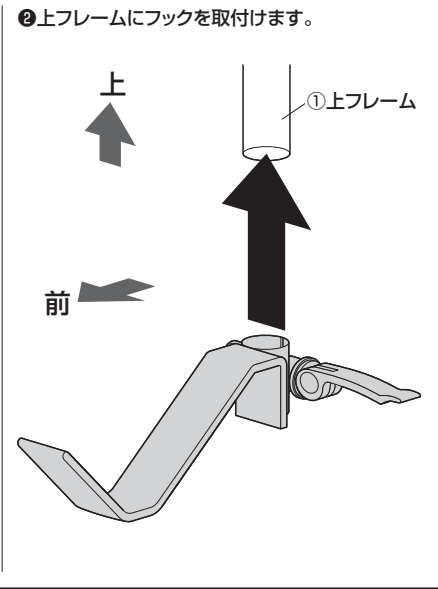
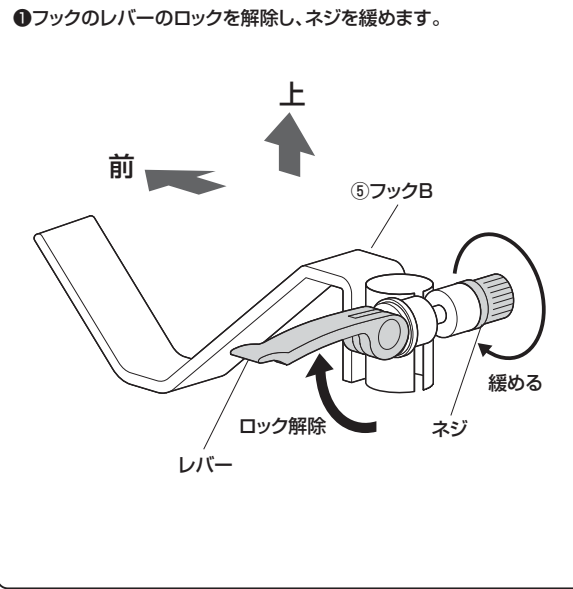
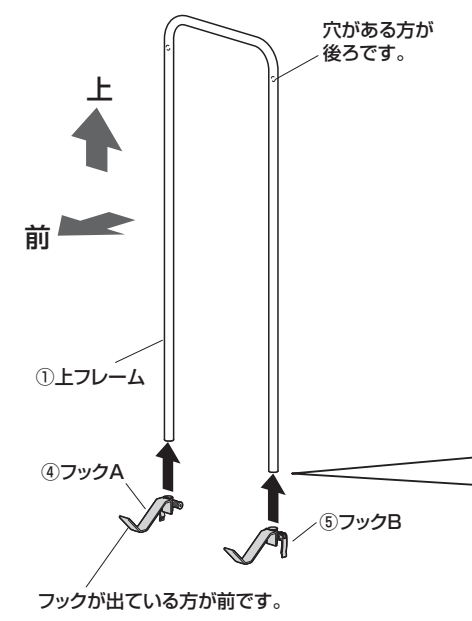


## 4 下フレームにフックを取付けます。



※同様にもう一つの⑦フックD、⑥フックCも取付けます。⑥フックCはネジの緩める・締めるは逆方向に回します。

## 5 上フレームにフックを取付けます。



※同様に④フックAも取付けます。ネジの緩める・締めるは逆方向に回します。

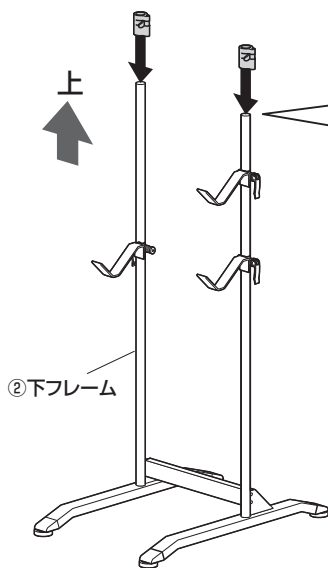
## 6 ストッパーを下フレームに取付けます。

①ストッパーのロックを解除します。



※同様にもう一つも解除します。

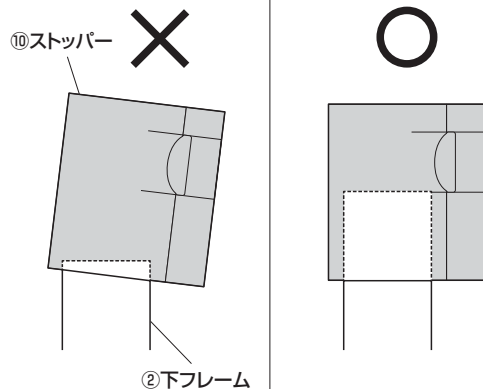
②下フレームにストッパーを取付けます。



▲注意▲

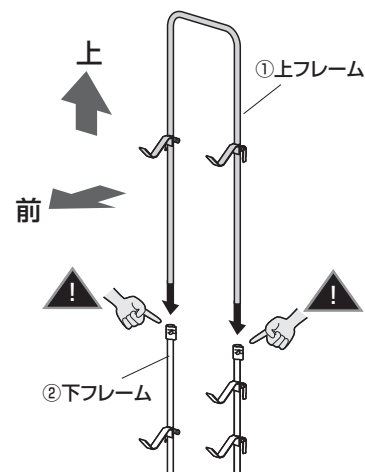
ストッパーは奥で止まるまで、下フレームにまっすぐ差し込んでください。

【横から見た図】



## 7 上フレームを下フレームに取付けます。

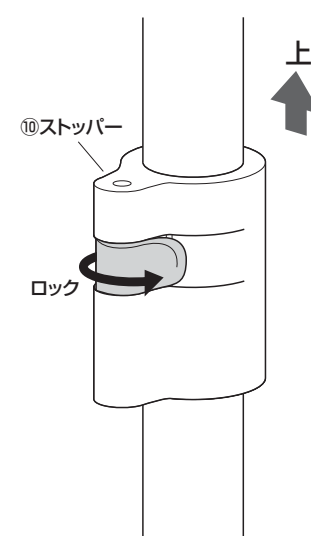
①上フレームを下フレームに取付けます。



▲注意▲

取付け部分で指などははさまないように十分ご注意ください。

②ストッパーをロックします。

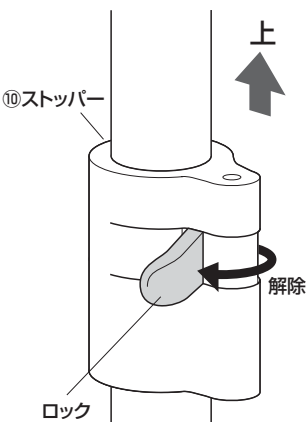


※同様にもう一つもロックします。

## 8 フレームの高さを調節します。

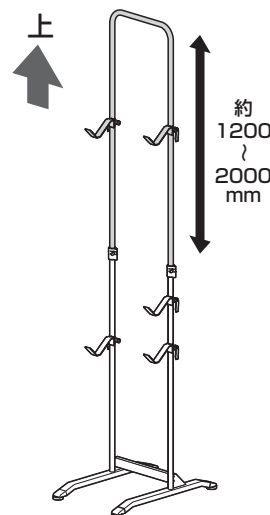
フレームの高さを約1200~2000mmに調節できます。

①ストッパーのロックを解除します。

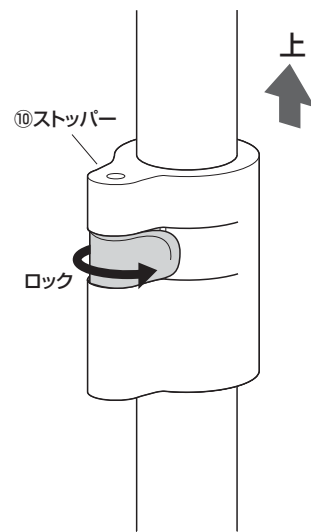


※同様にもう一つも解除します。

②上フレームをスライドさせて高さを調整します。



③ストッパーをロックします。

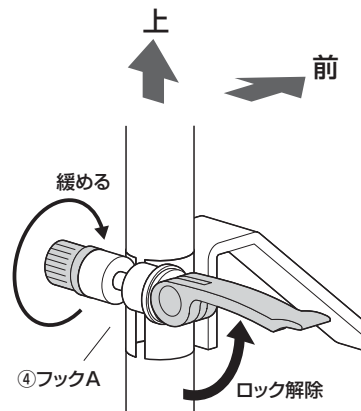


※同様にもう一つもロックします。

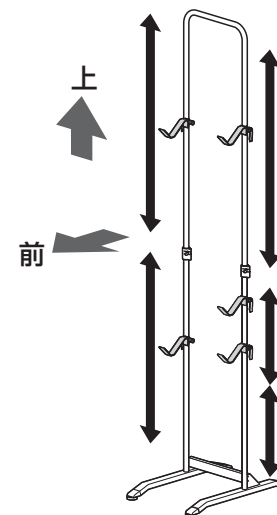
## 9 フックの高さを調節します。

フックを任意の高さに調節できます。

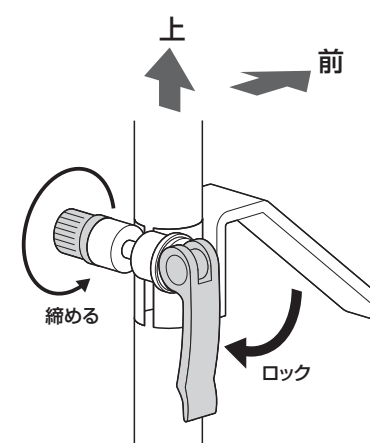
①調節するフックのレバーのロックを解除し、ネジを緩めます。



②フックをスライドさせて高さを調整します。



③フックのネジを固めに締め、レバーをロックします。

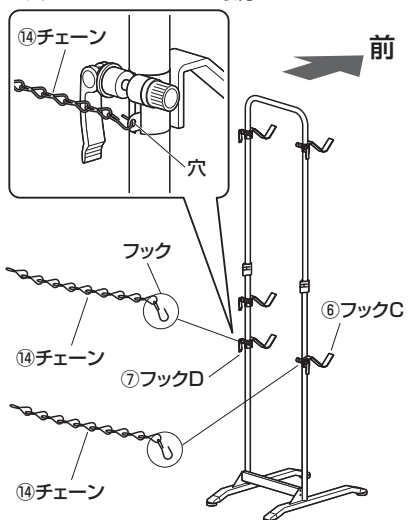


10

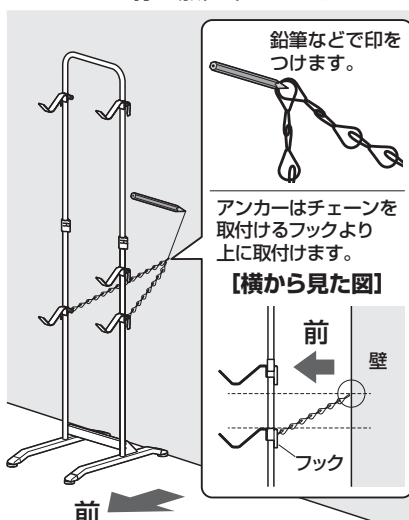
本製品を壁面に固定して完成です。

※必ず壁の内部に芯材がある部分に取付けてください。壁面は自転車と本製品(5.9kg)を合わせた荷重に長期間耐える十分な強度が必要です。

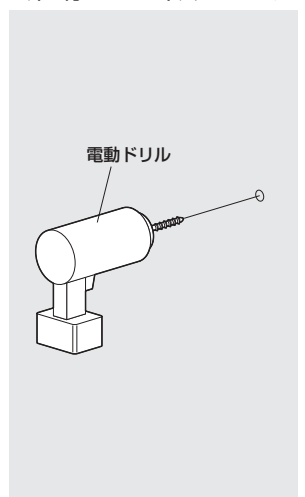
①フックC・下側に付いたフックDの、後ろにある穴にチェーンのフックを取付けます。



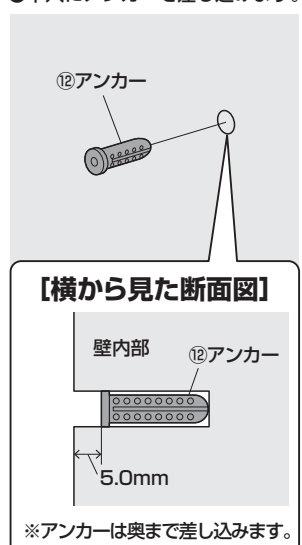
②本製品を設置する背面の壁にチェーンを伸ばしてアンカーを打つ場所に印をつけます。



③電動ドリルを使い、壁に印をつけた箇所に直径7.34~8.0mm、深さ約32mmの下穴をあけます。



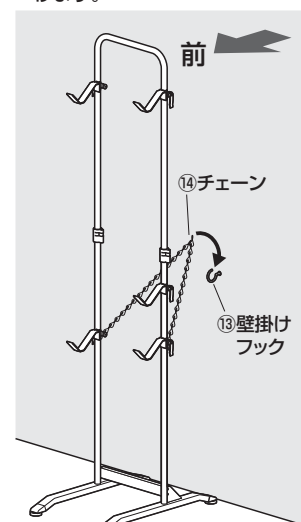
④下穴にアンカーを差し込みます。



⑤アンカーに壁掛けフックを取付けます。



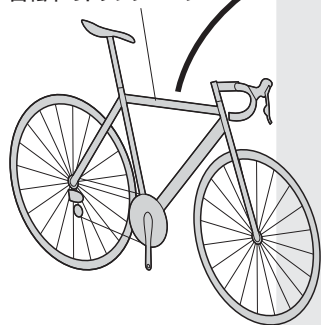
⑥壁掛けフックにチェーンを取付けます。



## 自転車の載せ方

フックに自転車のトップチューブを引っ掛けます。

自転車のトップチューブ



予備のフックには自転車用のヘルメットや手袋などの小物を掛けてご使用いただけます。



ヘルメットなど

### ▲注意▲

※自転車を載せる前に各部のボルト・ネジがきちんと締まっているかご確認ください。  
※特に、フックが十分に固定されているかご確認ください。

## 使用上のご注意

- 最大耐荷重を超えてしまうと、自転車を落として損傷する恐れがあります。
- 十分に安定した場所に設置するようにしてください。全体のバランスが悪い場合や傾きのある場所では転倒の恐れがあります。
- 自転車を本製品に設置しているときは、絶対に自転車に乗ろうとしないでください。
- 自転車を本製品に設置したまま高さや角度を変えないでください。再度、高さや角度を調整する場合は、自転車を降ろしてから行ってください。
- スタンド各部のボルト・ネジがきちんと締まっているか確認してください。特に、フックが十分に固定されているかご確認ください。
- 直接自転車のフレームを載せるのが気になる方は、柔らかい布やテープなどをあててから、載せることをおすすめします。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた事故や直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。あらかじめご了承ください。
- 用途以外には使用しないでください。
- 本製品を分解・修理・加工・改造はしないでください。
- 本製品に強い振動や衝撃、無理な力を与えないでください。
- 作業を行う際は、必ず水平な場所でスタンド及び自転車を安定させた安全な状態で作業を行ってください。
- 作業を行う際は、周りに危険物(火気、ガスなど)がないか、確認した上で作業を行ってください。